



いじめ問題への対応について担当職員から説明を受ける党神奈川県議団

いじめ問題の解決へ

公明県議の主張受け実現

加害生徒への指導・支援チームを派遣

神奈川県

神奈川県は今年から、いじめ問題に対する関係者への支援体制を強化し、問題の解決に力を尽くしていく。

県は学校現場において、学校だけでは対応が難しい緊急度が高い問題が発生した場合、その対応策について学

校や市町村教育委員会に対する指導・助言や、児童・生徒や保護者に必要な支援を行う「学校緊急支援チーム」を派遣してきた。

しかし、いじめ問題に関するこれまでの取り組みは、いじめられた子どもへの支援に重きを置いたものだった

ため、いじめた側の子どもが抱える背景や要因に応じた対応については、必ずしも十分とはいえなかった。

これに対し、公明党の亀井貴嗣県議は昨年12月の本会議で、「子どもにいじめを繰り返させないという観点から、いじめた側の子どもへの指導をどのよう

に進めていくのか」と指摘し、対応策の必要性を提唱。これを受けて県は従来のチームに加え、いじめた側の子どもへの指導・支援を行うチームを新たに編成し、同時に二つのチームを派遣する体制を整えた。

こうした中で、昨年12月に相模原市の市立中学校で生徒間のいじめにより、生徒3人が逮捕される事件が発生。市から支援の要請を受けた県は今年1

月、新体制となった支援チームを当該中学校に派遣。その後、被害生徒と加害生徒の双方がそれぞれ希望する進路へと、新たな一歩を踏み出すことができたという。

県教育委員会学校支援課の杉野信一郎課長は「いじめられた子どもへの支援はもとより、いじめを繰り返す子どもへの立ち直りについても、適切な指導や必要な支援の充実に努めた」と話している。